

緑化の推進



緑のまなび事業(豊後大野市立大野小学校)

大分県豊後大野市



事業概要

第45回全国育樹祭関連行事のうち、お手入れ行事が予定されている豊後大野市内でみどりの少年団を有する大野小学校において、敷地内の学校環境教育向上を目的として事業を行った。子どもたちの緑のまなび環境の整備を行い、子どもたちに森林、緑に対して関心を深めてもらうため、樹木医の指導のもと、体験学習会という形で作業を実施した。校庭内の樹勢が衰退している古木12本周辺の土壌改良、校舎裏斜面のピオトープ型緑花ブロックの侵入雑木の伐採・整理を行った。また、市花であるボタンザクラの植樹を行った。

事業成果

日常での遊び、学びの場である校庭内で、植樹や木の周辺の土壌整備をすることで、緑や森林に対する関心を持つことができた。また、植樹など体験学習をすることで、環境整備をする大切さを実感することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・土壌が硬くなりやすいため、本事業での土壌改良は木にとって非常に良い。体験学習会をしたことで、木々に必要な作業、その作業によってどのような効果を発揮するかを教えることができた。(樹木医)
- ・身近な校庭の中で、身近な植物について学ぶことができるとても良かった。今後の管理を通して、継続的に木や緑に対する教育をしていきたい。(小学校教員)

参加者の声

- ・木を成長させるためにはただ肥料をあげるだけでなく、しっかりと土づくりが必要ということがわかった。(小学5年)
- ・ひとつの環境には、多くの生物がいることがわかった。(小学6年)
- ・子どもたちの木や緑に対する関心が深まったと実感できる。(小学校教員)



市の花・ボタンザクラを植樹



土壌改良



緑花ブロックを整備



大野小学校みどりの少年団(団員157人)

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.02ha
 植付本数：3本
 土壌改良：0.15ha
 除伐面積：0.03ha
 記念植樹：1回

参加者数

県内：208人
 県外：2人
 計：210人

樹種

ボタンザクラ

緑のまなび事業(葛巻町立江刈小学校学校林(バンザイ広場)整備事業)

岩手県葛巻町



事業概要

学校林を核とした教育活動の充実を図り、子どもたちが安心・安全な森林活動が実施できるよう、学校林内の環境整備を行う。主な活動は以下のとおり。①バンザイ広場整備(手洗い場設置、木質チップ敷設)・遊歩道整備、②学校林案内看板作成・設置、③作業道の整備、④活動用装備物品(ヘルメット)の整備、⑤記念式典、⑥学校林ゲート修繕など。

事業成果

バンザイ広場整備では、設置が望まれていた手洗い場の整備やチップを敷設することにより、衛生面にも配慮した学校林活動が可能となった。また、チップのほか間伐材を使って手洗い場を整備したことにより、森林資源(間伐材)の有効活用が図られた。遊歩道整備では、学校林内を効率

的に回遊できる遊歩道が整備された。

事業をよく知る関係者の声

- ・毎年5月に開催している学校林育樹祭では、低学年は森林散策を行っているほか、高学年は植樹や枝払い、間伐体験、鉛筆づくり体験など、学校林の状況にあわせた体験を行っている。学校林の環境が整備されたことにより、より充実した体験を実施していきたい。(団体職員)

参加者の声

- ・森の大切さとか木が役に立っているところなどを知った。(小学3年男子)
- ・木を植えて20年くらい経つと、その木がたくさん二酸化炭素を吸ってくれると学べた。(小学6年女子)
- ・いい空気になったり、いい水が流れたりするから、これからも木をいっぱい育てたい。(小学2年男子)



遊歩道整備



手洗い場整備



広場にチップ敷設



ベニヤマボウシほかを記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

- 育樹祭：1回
- 看板作成・設置：1基
- 作業道整備：300m
- 記念式典：1回
- ゲート修繕：1か所

参加者数

- 県内：118人
- 県外：2人
- 計：120人

「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業

宮城県登米市、南三陸町



事業概要

緑とのふれあい等を通して、沿岸被害住民と山村住民の交流も図りながら、東日本大震災からの復興を誓うと共に森林づくりの重要性を普及する。

事業成果

コロナ禍の影響により、南三陸町の被災者との交流活動を回避するため分離開催となったほか、参加者数を制限しながら式典や活動の簡素化を図った。そうした制約の中での開催は、参加者にとって心が和み、本当に楽しいひとときを過ごすことができた。特に被災地住民参加者からは、コロナ禍で外出する機会が少ない中での野外活動であり、さらなる継続を望む声が大きかった。

事業をよく知る関係者の声

- ・新型コロナウイルス感染予防対策で今年も開催が危ぶま

れたが、開催方法や移動手段を工夫して開催することができた。被災者の方々に喜んでいただけたことが何よりである。来年も感染予防対策をしっかりと講じながら開催していただきたい。(登米市担当課長)

参加者の声

- ・植えた苗木が立派な大木になってほしい。(小学生女子)
- ・動物たちがたくさんいて緑豊かな森になってほしい。(小学生男子)
- ・地元の自然の中で植樹活動ができて、とても心が癒やされた。久しぶりの野外での作業だったので、気分が爽快であった。(70代女性)
- ・地元での植林体験をとおして、生きることの根底には自然があるということを改めて感じる事ができた。(70代男性)



「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」(登米市)



カラマツほかを植樹(登米市)



「海の見える命の森植樹祭」(南三陸町)



ガマズミ、ドウダンツツジを植樹(南三陸町)

実績とりまとめ

作業内容

植樹本数：1690本
播種活動、山菜採り、木工教室

参加者数

県内：140人
計：140人

樹種

ドウダンツツジ、ガマズミ、カラマツほか

「森と海を結ぶ・絆の森林づくりプロジェクト」事業

宮城県石巻市



事業概要

東日本大震災からの復興と被災から甦った「みやぎの豊かな海」を県内外に発信した「全国豊かな海づくり大会」の開催を機に、森と海、そして人々の絆をさらに深めていくため、沿岸養殖漁業の盛んな女川湾に流れ込む女川（おんながわ）上流域にある荒廃森林を対象に、林業と漁業の関係者が協働して健全な森林の回復をめざして植樹活動を実施した。

事業成果

昨年とは別の地域において、林業と漁業との関係者による協働での植樹活動を行うことで、より広く「森と海」の関わり、森も海も豊かにする森林づくりの意義を関係者へ伝えることができたほか、今後も林業と漁業の関係者による協働での植樹活動を促進することで、県全体の豊かな森と海を育む活動を促進する。

事業をよく知る関係者の声

- ・県行政においても「みやぎ森と海の交流促進事業」として、沿岸域での森と海との協働活動を推進しており、連携することで相乗効果が期待される事業である。今後も、協働プロジェクトを推進するツールとして取り組んでいきたい。（県水林政部水産林業政策室長）

参加者の声

- ・沿岸漁業の盛んな地で協働で森林づくりをすることは、山と海を守ることにもつながる。（60代森林組合理事）
- ・最近、磯焼けなどの海洋環境の悪化や、マツ枯れ等で荒廃していることを危惧していた。植樹活動により森林が豊かになり養殖ものがたくさん育ち、美味しい海産物を提供していきたい。（50代漁協運営委員）
- ・今後も林業と漁業の関係者による協働での植樹活動を促進することで、観光資源でもある豊かな森と海を育み、その保全に努めていきたい。（50代自治体職員）



ヤマザクラを記念植樹



クヌギ、コナラ、カラマツなどを植樹



植樹に参加したみなさん



獣害防止柵の設置

実績とりまとめ

作業内容

植栽面積：0.1ha
植栽本数：203本

参加者数

県内：63人
計：63人

樹種

クヌギ、コナラ、カラマツ、ヤマザクラ

倒木や土砂の流出を防ぐ保水力の高い森作り

熊本県水上村



事業概要

目的は、斜面地における降雨による倒木や土砂の下流側への流出を防ぐために山の保水力を高めること。①令和2年球磨川豪雨によって斜面崩壊を起こした場所の現地状況確認。②作業道上に崩落した土石の除去及び崩壊斜面に残る倒木の移動。③崩落斜面への植樹。④崩落斜面近傍にあって河道に接する崖地際一帯への植樹。⑤上記①～④について、地元高校(林業コース)の教員・生徒と協働。⑥昨年度に植樹したエリアの刈払いの継続と獣害を受けた苗木のチェック及び保護。⑦湧水とその水道(みずみち)の確認と周辺への多様な樹種の植樹、必要な作業道づくり。

事業成果

林業コースのある南稜高校の教員・生徒との協働体制を組むことが可能となったこと、また、豪雨災害からの復興に向けて国県などの支援も得て進める「緑の流域治水」のプロジェクトチームとの接点を持つことができた。球磨川下

流域にある高専生徒や佐賀大学の教員学生の参加も得ることができたことは、森が抱える多面的な課題に取り組む大きな力となってきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・この広大な土地の中に植樹した苗木を健全に育てるためには、できるだけ多くの担当者を充てる必要がある。今年度参加を得た高校や大学との連携関係を持続させられないだろうか。

参加者の声

- ・サクラを植えたことが、日本に滞在した良い思い出となった。(アメリカ人女性)
- ・森に入ったことのない女性や子育て中の母親も気軽に参加できるようにするためには、活動エリアの中に休憩する場所やトイレが必要。(大学教員)
- ・植樹は世代を超えてその記憶が継承され得るものだと実感した。(会社員男性)



除間伐



作業道整備



傾斜地での植樹講習



ヤマザクラ、モミジ、ケヤキほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.4ha
植付本数：513本
下刈面積：3.6ha
除伐面積：0.2ha
間伐面積：0.2ha

参加者数

県内：78人
県外：2人
計：80人

樹種

ヤマザクラ、モミジ、ケヤキ、クヌギ、センダン、コシアブラ、ハリギリ、リンゴほか

令和2年7月熊本豪雨復興支援事業

熊本県八代市、水俣市、芦北町、津奈木町、あさぎり町、相良村、球磨村



事業概要

被災地域の復興を支援するため、緑化及び間伐材を使った木製品の提供により、地域住民や子どもたちの共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらおう。令和2年7月熊本豪雨被災地域の公共的施設、学校等に豪雨の記憶を後世に残すとともに心の癒しを図ることができるような樹木や花苗などを植える木製のプランター、ベンチ、木製遊具などの資材を地域や学校等に提供する。

事業成果

特に被害の大きかった地域の幼稚園や災害公営住宅等に、

植樹苗木66本、木製プランター57個、ベンチ22個、積み木セット21個、丸太20本、切株30個を配布し、緑や木材による潤いを被災者に届けることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・新しく建て直した幼稚園や保育園には園庭に緑がなかったので、樹木が園の潤いとなる。また、初めて木を植える園児も多く良い経験となった。(市町村関係者)

参加者の声

- ・地域住民や生徒がみんなで植栽や水やりを行っており、木や花が大きくなるのが楽しみ。



園庭に植樹



中学校に植樹



木製プランター



ベンチ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：66本
プランター、ベンチ、積み木
ほか木工製作

参加者数

県内：222人
計：222人

樹種

サクラ、キンモクセイ、コナラ、モミジほか

【週末は森へ】近隣住民と森との橋渡し事業

北海道富良野市



事業概要

森を整備していくことは持続可能な社会を築いていくには欠かせない理念である。さらに、コロナ禍という事態に伴う自粛生活で、人々のストレスは高まり、出歩かなくなったことによる体力低下も懸念されている。上記背景を踏まえ、【週末は森へ】を合言葉に、森づくり活動+αのイベントを通して、「森への理解」を深めると共に、「近隣住民のストレス発散」「体力向上」を目的とする。主な活動は以下のとおり。①子どもたちを森に誘う「へそ森クラブ」活動を新設、②元ゴルフ場跡地のフィールドに木を植える、③森づくり活動の重要なフェーズである間伐の意味を知り実際に間伐を行う、④間伐材を利用した調理やクラフトプログラムを開発する。

事業成果

令和2年より開始した「へそ森クラブ」が軌道に乗り、町の子ども達と森との距離感が縮まった。作業に必要な機材

を充足することができ、効率良くより安全な森づくり作業ができた。コロナ禍も落ち着きを見せ、多くの人が外に出るようになり、一般参加者による植樹がまた活性化し始めた印象にある。

事業をよく知る関係者の声

- ・間伐のルールをしっかりと定めた方がいい。(林業関係者)
- ・小中学校向けよりも、今後は企業のCSR活動として展開すると、さらに森づくりの大切さが伝わるかもしれない。(市職員)

参加者の声

- ・富良野は観光地なので、観光客が「木を植える」という取り組みをもっと前面に出すと、いま流行りのサステイナブルツーリズムとして世界中にPRできる。(40代女性)
- ・間伐材を活用したバーベキューやテントサウナをやってみたい。(20代男性)



間伐体験



ポット苗づくり



アカエゾマツ、イタヤカエデ、キタコブシほかを植樹



子どもたちの植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.2ha
 植付本数：1025本
 間伐面積：0.8ha
 植樹会：3回
 森イベント：6回

参加者数

道内：83人
 計：83人

樹種

アカエゾマツ、イタヤカエデ、キタコブシ、シナノキ、ハルニレ、ナナカマド、ミズナラほか

森と緑と湖のマチ そららの森づくりプロジェクト

北海道弟子屈町



事業概要

現在遊休地となっている弟子屈空港跡地を、観光客や地域住民が楽しむ為の森づくりをすることを目的としている。主な活動は、①自然を活かした観光資源の充実を図るための植樹活動、②環境に対する意識向上と共生社会の実現をめざした木育教室の開催である。

事業成果

コロナ禍の中で開催が危ぶまれたが、昨年同様に感染対策を十分に行っての植樹祭を開催することができた。参加者はこのような状況にもかかわらず昨年より多く集まっていたが、植樹面積の拡大を行うことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・できるかどうか不安な中、去年よりもたくさんの人が集まってくれて開催できて良かった。ソーシャルディスタンスを保つことで丁度良い植樹間隔が取れていた。今後も定期的なメンテナンスを行って維持管理をお願いしたい。(植生業者)

参加者の声

- ・安全面に考慮して開催してくれてうれしい。(40代女性)
- ・思った以上に木が育っていた。(50代男性)
- ・こうして植物や土に触れての作業は楽しい。来年どうなっているかも楽しみ。(30代男性)



そららの森



カラマツ、イヌエンジュ、ドロノキ、シラカバ、ミズナラなどを植樹



47人が参加



300本を植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：300本
下刈面積：0.7ha
苗床作り：1回

参加者数

道内：47人
計：47人

樹種

カラマツ、イヌエンジュ、ドロノキ、シラカバ、ミズナラ

いのちの森づくり植樹祭 IN おたる奥沢水源地 VOL.9

北海道小樽市



事業概要

地域住民との協働で植樹を行う事で、防災や自然環境への意識を高めるとともに、その土地本来の植生が失われつつある「いのちの森」を守り再生させることで、ここに暮らす人々が自然を愛し大切に思う心を育み地球温暖化問題を考えることの一つとして、「いのちの森づくり植樹祭」を開催した。当日は、三密の回避に注意を図り開催した。

事業成果

土地所有者の北海道が小樽市に土地を移管した中で、8回の植樹により、小樽市、ライオンズクラブ、ロータリー

クラブなどからの信頼も高まり、財政面を含め協力体制が取れた。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍での開催で心配したが野外での活動でもあり、子どもたちを含め久しぶりに家族での野外活動となり楽しかった。(男性)

参加者の声

- ・昨年より参加、高齢でもあり大変だと思い参加を躊躇したが、スタッフの温かい励ましの中で楽しめた。(女性)



ミズナラほかを植樹



植樹には147人が参加



下刈



森の大切さを伝える写真パネルを展示

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：1200本
 樹勢回復：165本
 下刈面積：0.15ha

参加者数

道内：192人
 計：192人

樹種

ミズナラほか

陸奥湾の海と山のつながりを植林を通して体験する事業

青森県平内町、鱈ヶ沢町



事業概要

陸奥湾のホタテを守る為に、海の近くの国有林(社会貢献の森)に広葉樹の植林活動を行う。毎回多くの参加者が森づくりの必要性を感じ参加している。また植林地の除間伐材を利用して薪割りや、エネルギー問題や身近な里山の手入れや雑木を活かして暮らしを学ぶ体験を通して、地球環境を守る活動の実現につなげていく。

事業成果

コロナ感染者数が減らない中での植林活動だったので、

開催できた事の意義は大きいと思っている。

事業をよく知る関係者の声

- ・参加者が定着してきている。

参加者の声

- ・自分達が植えた広葉樹で、海がきれいになってくれる事はとてもうれしい。これからもこの植樹祭にはできる限り参加していきたい。(高校生)



植樹には高校生も参加



広葉樹を植樹



親子での参加も



薪割り

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.7ha
 植付本数：200本
 下刈面積：0.7ha
 除伐面積：0.7ha
 森林資源活用：20本

参加者数

県内：133人
 県外：29人
 計：162人

樹種

広葉樹

沈黙しないでピカピカ里山にしませんか!

秋田県仙北市



事業概要

城下町に隣接した里山が住民の高齢化等により、利用されず放置されている状況を改善し、木の文化への理解と地域との交流を図る。主な活動は以下のとおり。①林内環境整備として刈払いやツル切り、②不良木の伐採とヤマザクラ植栽、③遊歩道整備の藪刈払いや崩落地の整備、④市民を対象したトレッキングなど。

事業成果

足場の悪い場所や老朽化した作業路があったために作業が進まなかった箇所が、安全かつ効果的に作業実施ができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・刈払い作業を継続的に実施することは大変だが、里山が目に見える形で変わってきており、市民の参加意識の向上につながっている。(元教員)
- ・それぞれの参加者にあった条件下で作業できるような環境を望む。(支援学校教員)

参加者の声

- ・植えた木の成長が楽しみ。(小学生男子)
- ・高齢者でも参加できるようなトレッキングコースが必要である。(60代女性)
- ・自然とふれあうことで子どもも大変喜んでいた。(40代女性)



サクラを植樹



森林整備



遊歩道の草刈



冬のトレッキング

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：9本
 樹勢回復：12本
 下刈面積：6.0ha
 遊歩道整備：6.0km
 トレッキング：2回

参加者数

県内：40人
 県外：15人
 計：55人

樹種

ベニヤマザクラ

八幡山桜(はな)の森整備事業 コブシ・ハンノキの森整備事業

山形県飯豊町



事業概要

農地としての再生が困難な元採草場を「里山の森」に再生することを目的にこの事業を始めた。サクラの森のほか、早春・初夏・初秋の花木の森、新・深緑の森、紅葉の森をつくり、雪解けから降雪までの期間、人々が楽しめる里山を整備する。今年度は、昨年度に引き続きコブシ・ハンノキの森の整備を行った。

事業成果

湿地再生のためにコブシ・ハンノキの森を造成した。あわせて八重桜の森整備を行った。第6回「里山を考える」集いは諸般の事情から中止した。自然林(広葉樹林)造成の重要性と、林業再生、農山村振興のカギを学んだ。「苗づくり」からの森づくり事業では、ブナ林から採取した稚苗を竹ポットに移植する作業を行った。子どものときから「森」と人間のかかわりや森の重要性を知る機会を提供する必要性、

重要性を痛感している。なお、新型コロナ感染防止のため参加者を今年も制限した。児童の参加については、新事業が1件、児童全員参加が1件と着実に成果が上がっている。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもの参加対策が必要。「焼き芋パーティ」を加えたらどうか。(協議会役員・県職員)
- ・農山村の暮らしと里山をどう結び付けていくか、しっかり追及する必要がある。(参加者)

参加者の声

- ・植樹が30分で終わった。ほかのイベントを加えたらどうか。(60代男性)
- ・植樹、講演会、いずれもとても大事な取り組みだと思う。(40代女性)
- ・「森」の大切さを全く知らない人が多い。ノーカーボン社会をめざすならこのことも大事。(60代男性)



コブシ、ヤマハンノキを植樹



森づくりの集い



ブナを育てる(森のホームステイ事業)



森の学習会

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5ha
植付本数：50本
下刈面積：1ha

参加者数

県内：86人
計：86人

樹種

コブシ、ヤマハンノキ

しらかわ本沼花見山づくり緑化環境整備事業

福島県白河市



事業概要

荒廃した里山の自然緑化整備を推進する。里山を整備して桜を中心とした植樹を実施、地域の憩いの場創出、名所づくりと後世に残す豊かな緑地環境を整備。また、東日本大震災復興のシンボルとして地域元気活動を推進。整備した里山では四季を通じた散策・散歩、地域学校連携の緑地学習など多目的利用をめざす。

事業成果

県産間伐材を使った案内看板を設置して来場者散策に役立てた。小学生卒業記念桜植樹ができ、自然環境整備の意義を感じてもらった。枝木片付け運搬工事、下刈委託で里山自然環境と景観向上が図られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・志の高い取り組みに感心している。住民団体が里山を花々で彩ろうと活動している。
- ・草刈、下刈、ツルツタ駆除などの作業を手伝いたい。

参加者の声

- ・植樹した桜の成長が楽しみ。大きくきれいな花を咲かせてほしい。(小学6年)
- ・草刈ボランティアを大勢で支援したい。(60代男性)
- ・総合学習野外活動として利用させてもらった、教育の場として良い環境。(50代教員)
- ・散策時の休憩場所があると助かる。(70代女性)



卒業記念に桜を植樹



野外学習



下刈



桜の手入れ作業

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
 植付本数：20本
 樹勢回復：1000本
 下刈面積：5.3ha
 除伐面積：0.2ha
 野外学習活用：3回

参加者数

県内：126人
 計：126人

樹種

桜

渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業

栃木県日光市



事業概要

銅山の煙害で荒廃した足尾の山々に木を植え、緑したたる森に還すとともに、自然環境を大切にすることを育む。主な活動は以下のとおり。①小学校等の体験植樹及びボランティアを募集する植樹会の開催、②植樹後の下刈等の管理作業、③荒れている植樹予定地の地盤改良工事。下部は当会スタッフで作業し、上部の急傾斜地は外部委託する。

事業成果

植樹地盤整備により、今まで一般参加者が植えられなかった場所に安全に植えることができるようになった。また、土壌改良剤を配合した黒土を入れたことで苗木の活着率は高くなった。長年にわたり植樹している久蔵口植樹地では、育った木を見ることができるようになった。自分の植えた苗木の生

長を想像することができ、リピート参加者が多い。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹地の悪い土壌の影響から苗木の枯死が課題であった。現地調査および科学的な土壌分析の結果を基に最適な緑化改善方法を提案し、委託業者とも連携し植樹地の土壌改良工事を行っている。また、試験施工を行い経過観察中であり、結果を共有し今後の緑化に活かしてほしい。(緑化技術支援企業)

参加者の声

- ・とても良い行事でまた来年も参加したい。足場作りなど下準備に本当に感謝。(植樹デー参加70代)
- ・自然に対しても色々と考えさせられる機会になった。(植樹デー参加20代)



春の植樹デー



苗木をていねいに植え付け



丸太で木柵をつくり土の流出を防ぎ苗木の活着率を高める



モノレールで運んだ黒土をまく

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1ha
 植付本数：1万1379本
 下刈面積：0.5ha
 イベント：110回
 地盤整備面積：0.05ha

参加者数

県内：2321人
 県外：3033人
 計：5354人

樹種

コナラ、クヌギほか

関東一のつつじ公園の復活と百年生美林散策

栃木県鹿沼市



事業概要

ヤマツツジの群落の再生・復活及び百年生美林による森林浴を体験できる環境整備を図るためツル切りや下刈を行った。

事業成果

ツル切りと同時に高齢木や枯れ枝の除去をしたので今年の花が例年より見事に咲いた。

事業をよく知る関係者の声

- ・散策路整備されているので歩きやすい。(60代夫婦)
- ・頂上からの景観が素晴らしい。(50代女性)

参加者の声

- ・参加する方は全員会員で、ほとんどが還暦を過ぎた方なので、時間に余裕があり、健康増進を図りながらの作業であるため楽しんでいる。



下刈



ツル切り



肥料散布



作業参加者のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

ツル切面積：4ha
下刈面積：2.5ha
ツル切イベント：1ha

参加者数

県内：206人
計：206人

樹種

ツツジ

ヤマアジサイの森の清掃活動とボランティア育成講座

群馬県高崎市



事業概要

貴重なヤマアジサイが自生する森を保護してきたが、ボランティアが高齢化して保護活動が難しくなってきた。そのため、次世代を担うボランティアの育成を兼ねて、ヤマアジサイの森の清掃活動を実施した。

事業成果

今回、清掃活動が実施でき若い方が参加してくれた。森がきれいになり「また参加したい」と希望してくれたことは、大きな成果だった。

若い参加者が集まり、森に来るとすがすがしいことを実

感し、森での活動の楽しさを学ぶことができたと思う。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもの時から山や作業道具に親しむ活動は、次世代の人材育成に大変有効だと思う。今後とも続けてほしい。(講師)

参加者の声

- ・森の中での活動は大変楽しかった。この森の活動を、会員だけの活動としないで、年間いろいろな活動をもっと皆さんにアピールして若い世代を取り込む工夫をしてほしい。



森の清掃



枯枝などでチップづくり



チップ



作業に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容
 清掃活動：0.2ha
 チップづくり

参加者数
 県内：45人
 計：45人

市民参加型森林整備・森林環境教育推進事業

千葉県山武市



事業概要

都市住民や地域住民を対象に、人工林の保全作業を通じた自然環境への理解活動を実施した。初心者でも参加しやすいように、季節ごとに作業内容に変化を持たせつつ、安全性が確保されたフィールドで森林環境教育イベントを計画するなど、参加者のモチベーションを維持するために工夫した。令和元年の台風により活動地の森でも風倒木等の甚大な被害が発生したため、台風被害からの復旧を主とした活動を行ってきたが、ようやく目途がついた。一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、予定していた活動や環境教育イベントに影響が出たが、感染症への対策を講じながら活動を継続した。

事業成果

感染症拡大により参加者減少が懸念されたが学生の参加が増えた。理由は、授業がリモート化されるなどで、実習が減少している模様。そのため自らボランティア活動を探

して申し込みに至っている。事務局としては、活動を継続するためのノウハウを蓄積するとともに、学生に対して気づきや学びになることを、しっかり伝えることができたようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・参加する方々の年齢や居住地が幅広いことがこの団体の特徴だが、一方で、熟練者が少ないため道具の選定や手入れにはより注意を払ったほうが良い。(危険木除去委託先NPO)

参加者の声

- ・雨天時の緊急避難場所など、屋根のある場所を確保したほうが良いのではないかと。また水道やトイレなどを改善したほうが良い。(定例活動リピーター)
- ・授業でSDGsが取り上げられたことをきっかけに参加したが良い学びの機会になった。森づくりに貢献できたという実感があつた。(高校生と保護者)



クヌギ、コナラなどを植樹



子どもたちの枝打ち体験



ササ刈り



間伐体験

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：200本
 下刈面積：0.5ha
 間伐面積：0.2ha

参加者数

県内：133人
 県外：116人
 計：249人

樹種

クヌギ、コナラほか

みんなの森づくりプロジェクト

山梨県大月市



事業概要

本事業の拠点である「みんなの家」周辺には、手つかずの森林が多く残っている。この地域は高齢化が進み森林整備ができる人たちがいないためだ。そのため、地域の森林を守るとともに、都市部では体験できない森林での活動を通して自然との共生や重要性に気づくことを目的として活動を実施した。主な活動は以下のとおり。①幼児を対象としたキャンプ2回実施、②幼児を対象にしたデイキャンプ4回実施、③当法人ボランティアスタッフが行う森林整備8回実施、④家族を対象としたデイキャンプ2回実施。

事業成果

都市部から離れた里山の中で思う存分体を動かすことは、とても良いリフレッシュの機会となったに違いない。また、都市部で生活する私たちには身近でない里山でのさまざまな体験は、子どももスタッフも多くのことを感じ学び体験することができた。近隣住民の方たちが活動に協力してく

ださり、様々な場面で共に学び合う関係性が築けている。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちの姿を見ると元気になる。何か困っていることがあったらいつでも手伝いたい。(地元住民80代)
- ・活動を通して、地域が好きになり定住してくれる人が出てくるとうれしい。(地元住民80代)
- ・もともとホタルや川魚がたくさんいた。少しでも昔の風景や環境に戻したい。(地元住民80代)

参加者の声

- ・たくさんあそべた。むしをたくさんみつけたよ。(幼児)
- ・ここに来るとリフレッシュできる。森林整備をして地球にも良いことをしているのがより嬉しい。(40代男性ボランティアスタッフ)
- ・ここに来ると自然と一体化できる気がする。風の匂いか自然の音とか普段感じられないことが感じられる。(20代女性ボランティアスタッフ)



森林整備



子どもたちの里山体験



自然観察



木の実を使って工作

実績とりまとめ

作業内容
 除伐面積：5ha
 間伐面積：2ha
 自然体験活動：6回
 森林整備：8回

参加者数
 県外：75人
 計：75人

国民参加による災害に強いめぐりの森づくり

神奈川県横須賀市



事業概要

水源林でありトウキョウサンショウウオも生息していた神奈川県有地「湘南国際村めぐりの森」は、現在、バブル期に開発された跡地として荒廃している。なだらかな丘陵地帯でありながらススキやメドハギなどの河川の植生のような貧栄養な景観が続く。当該地にて2009年より神奈川県のコア事業として、植樹による土地本来の森の再生を実践している。本年は、春と秋に潜在自然植生種を植樹し、累計2.06haの緑化につながった。

事業成果

当法人が2015年に全体統括となってからは、造園業者の刈草や廃棄予定の東京都使用済活性炭を再資源化し、森の再生に活かしている。焼却処分予定の海藻拾いなどを含めると年間100トン以上の二酸化炭素排出量を削減している。

こうしたSDGs貢献にも繋がる地道な取り組みが外部より評価を得て、年始早々より企業や団体・教育機関からの講座・講演会依頼が三割増しで増えている。

事業をよく知る関係者の声

・土壌づくりや環境づくりがいかに大切かを学ばせてもらった。かかわっておられる多くの方々の大きさを感じ、とても重要な日に参加できた喜びを感じた。森の環境を守っていくことはいかに難しいかについて考えさせられた。小さなことから取り組んでいきたいと思っている。(Silva 森林再生指導員)

参加者の声

・植樹は、木々の中で清々しい気分がエネルギーもたくさんいただいた。成長する森、豊かな森に育てていく過程、その一端に参加できて良かった。(NPO会員)



植樹場所の整備



植樹のためのリーダー研修



4067本を植樹



家族連れも参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.07ha
 植付本数：4067本
 下刈面積：2ha
 除伐面積：2ha
 間伐面積：0.7ha
 森林資源活用
 廃材再資源化

参加者数

県内：1328人
 県外：968人
 計：2296人

樹種

潜在自然植生種

船来山里山環境整備事業

岐阜県本巣市



事業概要

船来山の古墳などの歴史遺産、多様な樹木、そこで生きる動物、濃尾平野を見通す景観などの魅力を小中学生や市民に伝え、安全に利用できる里山づくりを行う。また、伐採したタケを有効利用することで、空気中の二酸化炭素を固定化し、地球温暖化を防ぐことに貢献する。主な活動は以下のとおり。①竹林の伐採整備、雑草や灌木地の草刈り、②伐採したタケで竹炭や竹細工を製作販売、③体験会を開き里山の魅力を小中学生や市民に紹介、④市のイベントに協力、活動場所の整備など。

事業成果

独自のイベントとして「自然観察会」「竹炭作り体験会」「タケノコ掘り体験会」を実施できた。また、各学級にチラシを配布することで、市内の4年生以上の小中学生に船来山で楽しめる活動を伝えることができた。

竹炭により空気中の炭素の固定を活動に取り入れることができた。今年度は整備4年目、子どもや市民の活動場所として使えるようになってきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・無煙炭化器による炭づくりは、ゴミの有効利用となるのでやってみたい。(果樹農家)
- ・歴史遺産を維持しやすくし、人が入れるように整備してもらえ感謝している。(市社会教育課長)

参加者の声

- ・身近な山で、鳥や木のことを知ることができて良かった。(中学生)
- ・自分たちの出したゴミによる環境破壊に関心があった。伐採竹を竹炭や竹細工として利用する体験ができて良かった。(中学生)



草刈り



竹林伐採後



竹炭づくり(無煙炭化器)



タケノコ掘り体験会

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：1ha
 除伐面積：0.1ha
 間伐面積：0.4ha
 竹製品製作販売：11回
 タケノコ掘り：6回
 体験会：4回

参加者数

県内：369人
 計：369人

猿投山北西山麓の環境林整備

愛知県瀬戸市



事業概要

猿投山北西山麓において健全で活力ある人工林の育成と環境林としての機能を向上させる。主な活動は以下のとおり。「県有林やまじの森」「日本山岳会所有地」「東大演習林」において放置された人工林の間伐を行い、保健保安林として近郊市民が森の恵みを楽しむよう自然観察道・ハイキング道などを「春夏秋冬」楽しめるよう除伐・ササ刈などの整備を行った。なごや環境大学・せと環境塾・法人会員や一般や応募者に対して森の手入れを体験してもらいながら森の機能について学習し併せて「SDGs」について学んだ。

事業成果

新たな感染対策を実施しながら人工林の間伐、特に東大

演習林では2年計画で243本の間伐を完了した。雑木林や自然観察道の除伐・ササ刈も予定通り実施することができた。また「せと環境塾」での炭づくりや「なごや環境大学」での現地講座“森からのプレゼントⅡ”は好評であった。

事業をよく知る関係者の声

- ・森が明るくなり安全確保の観点も含め良くやっていた。 (ハイカーほか)

参加者の声

- ・コロナ禍のなかでも活動ができて良かった。
- ・森の中で汗をかきながらの作業することで「ストレス」が解消できる。



間伐



伐採体験



自然観察会



落ち葉を踏んで腐葉土づくり

実績とりまとめ

作業内容

除伐面積：0.6ha
 間伐面積：0.5ha
 森林資源活用
 自然観察道整備：1.8km
 作業道整備：1.2km
 イベント：2回

参加者数

県内：780人
 計：780人

グリーンベイ OSAKA 海岸防災森を創る活動

大阪府堺市



事業概要

南海トラフを震源とする大地震はいつ発生してもおかしくない状況であるといわれている。大地震で発生が予想される津波から都市や市民を守る手段として防潮林がある。少しでも早く苗木を大きく育てて、理想的な海岸防災林をつくることを目的に植樹を行う。

事業成果

新たに364本の苗木を植樹したことによって大阪湾の南北方向への防潮林としての効果が期待できる。

事業をよく知る関係者の声

- ・他の場所では企業や府主催の植樹活動が行われているが、私たちの苗木の成長を見て、植樹方法がこの地に適していると感心している参加者がいた。

参加者の声

- ・植樹エリアの対岸の工場やその関係企業から毎回多数が参加している。参加者のほとんどは複数回参加しており、樹木の成長ぶりに毎年のように驚いている。



アキニレ、ウバメガシなど12種を植樹



植樹の様子



家族で参加



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.07ha
植付本数：364本
下刈面積：0.25ha

参加者数

府内：125人
府外： 9人
計：134人

樹種

アキニレ、ウバメガシほか

里山保全活動からSDGsを学ぶ

兵庫県三木市



事業概要

①13年目の里山保全活動を達成する。内容：兵庫県三木市蓮華寺の森に繁殖したタケの伐採を行った。小学生から大人まで総計39人が参加。主に小中高大学生が伐採をして大人が運び出した。②自然保護に携わる若者を育成する。内容：作成したチラシは小中高大学生を中心に配布するように配慮した。今回は伐採したタケで竹炭を作る試みを行い、飢餓と食物栽培、安全な水、質の高い教育、気候変動、陸、海の豊かさなどSDGsと関連させ自然環境の大切さをアピールした。

事業成果

今年度は竹炭窯をつくりSDGsと関連させた。大学で世界のSDGsを研究するボランティアグループ「未来の家」の会

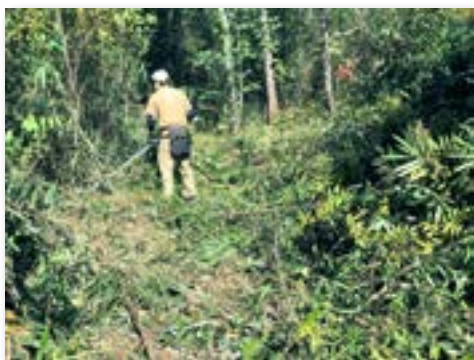
員の研究にも寄与している。

事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアグループ「未来の家」の未成年会員は保護者の登録を必要としている。8年前から2人の子どもが会員でその保護者は竹林の中にあった小さな木が見違えるほどに大きくなっていることに驚かれ、こうした地味な活動を支援していきたいと話していた。

参加者の声

- ・コロナ禍で参加を躊躇したが山の中なので思い切って参加した。色々な自然活動にボランティアとして参加しているがほとんど私くらいのシニアだが、今回の活動ではコロナ禍なのに若い人の参加が多く驚いた。



下刈り



タケ伐採



SDGsと炭づくりについての説明



炭窯づくり

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.3ha
 間伐面積：0.3ha
 山道整備、資材運搬、窯造り、竹林伐採

参加者数

県内：83人
 県外：3人
 計：86人

丹波平松の森づくり

兵庫県明石市、丹波市、宍粟市、姫路市、神戸市



事業概要

住みよい丹波の住みよい地域で安全安心の森づくりのため、丹波市春日町の森林愛好会と一体となり、ドングリ植樹を通して地域の交流をはかり、魅力ある森づくりを推進する。

事業成果

丹波市春日町平松区の新たな植樹場所での活動に伴い、ドングリの植樹を通して平松区森林愛好会との交流をはかり、この地ならではの体験をすることができた。

事業をよく知る関係者の声

・植樹活動、ドングリ拾いを通じて森を育てる大切さと地域交流が生まれることを期待してる。長年主要イベントで一般会員との交流があったがここ数年は交流が少なくなっている。(会長)

参加者の声

・植樹は傾斜面での作業で、苗木も背の高い大きいものだったため、穴を掘るのが大変だった。大径木の伐採などの見学もでき、森林の管理の大変さを感じた。(森をつくる会役員)



植樹地の整備



獣害防止ネットの補修



クヌギを植樹



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2ha
植付本数：250本

参加者数

県内：118人
計：118人

樹種

クヌギ

100年先も誇れる彩の森づくり事業

島根県雲南市



事業概要

荒廃化を防ぐため山林の伐開作業を行うとともに、人々が集まる彩りを創出し地域振興につなげる。主な活動は以下のとおり。①荒廃してきた山林の伐採と下刈、②森林資源の活用（間伐材を炭に加工）、③森林環境学習と植樹の体験など。

事業成果

地元で炭づくりを行っている団体に間伐材を提供することで、草刈り作業にボランティアとして参加してもらうことができ新たなつながりが生まれた。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回の事業で周辺一帯の植樹が完了し、さくらおろち湖周辺の景観の美化に役立つと思われる。植樹ができ、会場と森林保全に関してはPRになった。今後は植樹地を体験等できる場所としての活用を考えたい。(雲南市役所職員)

参加者の声

- ・植樹した場所は高くて少し怖かったが、とても楽しく木を植える事ができた。今後も森や木の大切さを考えながら生活していきたい。(小学生)
- ・参加児童にとって今回の植樹は卒業の記念となるとともに、身近にある自然の大切さを知る良いきっかけとなった。(小学校教員)



荒廃した森林での伐採



森林整備



サクラ、カエデを植樹



植樹の様子

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.05ha
 植付本数：10本
 下刈面積：0.02ha
 除伐面積：0.05ha
 森林資源活用：50本

参加者数

県内：64人
 計：64人

樹種

ハウチワカエデ、エドヒガン

おおつか里山桜並木回廊事業

島根県安来市



事業概要

殿川内溜池の完成を記念して当時の老人会がサクラの植樹を行ったが、地域の高齢化や若者の流出もあり、今では雑木林となってしまった。地域住民が花見をしていた頃の環境を復活させるため、大塚寿会により桜並木回廊事業を実施した。主な活動は以下のとおり。①殿川内溜池周辺の雑木の伐採と下刈、②5品種計200本のサクラを植樹、③次世代の子どもたちにサクラを継承するため、地域のこども園と小中学校にPR活動を実施。

事業成果

雑木を伐採したことで、溜池周辺にサクラを植樹した当初の環境を復活させることができた。また、事業を実施することで、手入れや整備の大切さを学んだ。

事業をよく知る関係者の声

- ・サクラを植樹した当時の環境を復活させる取り組みは、森林保全の大切さを再確認する良い機会となった。また、地域にサクラ並木の景観を継承することができ、意義ある活動であった。

参加者の声

- ・児童がサクラの苗木を手にする事で、これから地元の里山で順調に育つ期待感を抱いているように感じた。(教員50代男性)
- ・植樹作業に参加し、昔溜池周辺で花見をしたことを思い出した。(70代男性)
- ・里山にサクラ並木が復活する日が待ち遠しい。(地域住民40代男性)



植樹場所の整備



サクラを植樹



サクラ



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2ha
 植付本数：200本
 下刈面積：2ha
 除伐面積：2ha

参加者数

県内：29人
 計：29人

樹種

サクラ

「山の日」祝日5周年記念植樹祭

広島県廿日市市



事業概要

「山の日」の5周年を記念した植樹祭を小室井山（標高1072m）の山頂付近で行った。参加者の手で植えて育てる、山の恩恵に感謝し、森の大切さを理解して行動する人の輪を広げることを目的に植樹した。主な活動内容は以下のとおり。①7月コロナ感染防止を徹底するため参加規模を縮小して行った。②小室井山に登り、山頂付近にレンゲツツジを植栽した。③事前準備では、安全登山のために登山道整備を行った。また、植栽地は木やスキの根株を除去し、耕耘を行い植栽しやすい環境に整えた。

事業成果

今年は密集を避けるため植栽は奇数、偶数の順番で一人4本程度植栽してもらった。植栽場所を山頂と麓の2か所に区分し体力、体調にあわせて参加しやすい環境で植樹した。毎年参加している広島市内の児童（知的障害者）の参加がコロナ禍のため参加できなくて残念だった。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹祭は1日だが事前準備等が大変である。体力の維持管理に気を付け、健康でこれからも喜ばれる活動にしていこう。(75才男性)
- ・植樹活動は、環境に貢献する活動でもあり大切な啓蒙活動である。5000本のツツジ群落造成をめざして努力しましょう。(50代男性)

参加者の声

- ・飛び入りで植樹をさせてもらい楽しかった。来年も参加させてもらいたい。(60代夫婦)
- ・これまで植えた5本の苗木が元気に花芽が付いているのが確認できた。5月末に花見に来たい。(60代女性)
- ・温暖化防止に少しでも協力したいと思い参加して4回目、植えたツツジも確認でき満足、来年も参加したい。(60代男性)



植樹地の下刈



植樹地の整備



レンゲツツジを植樹



植樹祭参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：200本
 山道草刈り：2000m
 地拵え面積：0.1ha

参加者数

県内：103人
 計：103人

樹種

レンゲツツジ

竹林跡地を活用した森の再生事業

香川県丸亀市



事業概要

目的は、水路のコンクリート化によって失われた緑を取り戻し荒廃した竹林を整備し森の再生を図ることである。

主な活動は、①竹林を伐採、重機を活用してタケの根株を掘り起こし乾燥させて焼却、②花崗土を投入し、土壌整備するとともにタケ根浸入、防止のため掘削して、遮蔽板を挿入、③土壌整備地へサクラ、クスノキ・ケヤキほかを植樹。

事業成果

整備対象地域は、荒廃した竹林に多くの粗大ゴミが放置され、近寄りたがたい所であった。整備が進むにつれ周囲が明るく開放的になって、近くのウォーキングコースの利用者から感謝されるとともに、親子連れやカップルの皆さんが立ち寄ってくれる程に環境が様変わりし、親子防災キャンプ場としても利用された。

事業をよく知る関係者の声

・植栽の施工技術についてアドバイスした。参加者の熱心さ、謙虚さ、行動力に感動した。(造園業者)

参加者の声

- ・森の再生を始めて丸2年経ったがまだ半分もできてないと思う。身体が動けるうちは頑張りたい。年々景色が変わっていくのが楽しみだ。(コミュニティ環境部員80代男性)
- ・女性スタッフがツツジの植樹を担当、つるはしで穴を掘るところから始めた。石やタケを取り除き穴を掘り広げ、愛情をこめて植付けと水やりをした。大変疲れたが、花が咲く光景を想像しながら見守っていきたい。(コミュニティ部員60代女性)
- ・あれほどに荒れていた竹林がこんなにも変わっていく様は楽しみのひとつとなった。四季折々楽しめる公園になるまで頑張りたい。(コミュニティ防災部員70代男性)



植樹用地整備



倒木処理



ツツジの植樹



サクラ、クスノキほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
 植付本数：67本
 下刈面積：2ha
 除伐面積：0.7ha
 遊歩道の整備作業：0.5ha

参加者数

県内：180人
 計：180人

樹種

サクラ、ウメ、ツツジ、サザンカ、クスノキ、ケヤキほか

脱炭素化社会へ! 都市部市民と里山応援企業の協働活動2021

大分県大分市



事業概要

大分市街地の人工林育成と整備作業。大分スポーツ公園の人工林にツルが巻き付いて枯れ木が増え始めたため下刈とあわせて育成整備する。

事業成果

本年度は新人研修的な要素を交え新入社員の参加で団結が深まった。またフリーマーケットを開催し緑の募金に募金をしてもらった。

事業をよく知る関係者の声

・コロナ禍のなか、このような形で行えたことは一つの成果だ。安全に作業ができたことがなにより。

参加者の声

・他社の方とのコミュニケーションがとれて良かった。(20代)



ツル切り



安全に心がけながら作業



子どもたちも参加



参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：1.3ha
除伐面積：1.3ha
ツル切り：2ha

参加者数

県内：40人
計：40人

森林がもたらす恩恵に感謝！～森林資源の利活用と四季を彩る森林体験～

鹿児島県日置市、いちき串木野市、始良市、霧島市



事業概要

森林のもたらす恩恵や大切な働きを学び、豊かな生態系を育む森林づくりや、森の恵みを感じてもらうことを目的に、以下の活動を行った。センリョウ・イチョウ植栽による森林づくり活動や、森林と海のつながりについての講話、県内の木材動向についての学習。さらに、木工ろくろ、小鳥の巣箱づくり、タケ一輪挿しづくり、シイタケ駒打ち、タケノコ掘り体験等、森林資源の利活用を四季を感じながら体験していただき、森林を守り育てることの重要性に対する理解を図った。

事業成果

小鳥の巣箱づくりやシイタケ駒打ち体験も組み込み、森林資源の利活用体験による森林の恵みを、より深く体験していただいた。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍の中で、多数のイベントが中止となるなか、感染拡大防止対策を取りながら活動を実施したことはすばらしかった。参加者は楽しみながら、森林・林業についていろいろなことを学び、理解を深めている。今後は、さらに若い世代の参加者が増えるような企画にも取り組んでいただき、次世代育成につながる活動を多数実施されることを期待している。

参加者の声

- ・森林の大切なはたらきを知り、自然が破壊されないよう、森を守っていかねばと感じた。初めて参加したが、とても勉強になった。
- ・木工ろくろ皿づくり体験は、普段経験できないので、とても楽しかった。木のあたたかみを感じられる作品を自分で作ることができ嬉しかった。



センリョウ植樹



タケノコ掘り体験



一輪挿しづくり



歩道整備

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：310本
下刈面積：0.6ha
森林資源活用：6回

参加者数

県内：121人
計：121人

樹種

センリョウ、イチョウ

